



令和6年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区施設機能診断調査業務

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
南部九州土地改良調査管理事務所



相見会議 ( 21 2 )



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和6年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区施設機能診断調査業務（設計業務）

# 積 算 書

（当初）

九州農政局  
南部九州土地改良調査管理事務所



















事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

業務名 出水平野地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S63003	機能診断 線的構造物 (見積歩掛分)		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亞熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	2.08人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	3.49人				
	5)技師Bの人数	2.85人				
	6)技師Cの人数	2.16人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.080	人	64,800	134,784	
R04004	技師 ( A )	3.490	人	57,000	198,930	
R04005	技師 ( B )	2.850	人	47,200	134,520	
R04006	技師 ( C )	2.160	人	38,400	82,944	
	合 計				551,178	算出数量 1.000 式
	単 価		式		551,178	
	*** S 単 - 2号 ***					
S63003	機能診断 線的構造物 (見積歩掛分)		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亞熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	1.74人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	3.07人				
	5)技師Bの人数	2.60人				
	6)技師Cの人数	1.84人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.740	人	64,800	112,752	
R04004	技師 ( A )	3.070	人	57,000	174,990	
R04005	技師 ( B )	2.600	人	47,200	122,720	
R04006	技師 ( C )	1.840	人	38,400	70,656	
	合 計				481,118	算出数量 1.000 式
	単 価		式		481,118	
	*** S 単 - 3号 ***					
S63003	1.業務準備		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亞熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04004	技師 ( A )	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 ( B )	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師 ( C )	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				176,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		176,200	
	*** S 単 - 4号 ***					

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

業務名 出水平野地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S63003	2.熱赤外線調査結果整理		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.50人				
	6)技師Cの人数	2.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師( A )	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師( B )	2.500	人	47,200	118,000	
R04006	技師( C )	2.500	人	38,400	96,000	
	合 計				271,000	1.000 式 算出数量
	単 価		式		271,000	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	3.点検とりまとめ		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	1.50人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師( A )	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師( B )	1.500	人	47,200	70,800	
R04006	技師( C )	1.000	人	38,400	38,400	
	合 計				137,700	1.000 式 算出数量
	単 価		式		137,700	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63007	業務準備(現地調査)基準日額		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04003	主任技師 外業	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師( A ) 外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師( B ) 外業	0.500	人	47,200	23,600	
R04006	技師( C ) 外業	0.500	人	38,400	19,200	
R04007	技術員 外業	0.500	人	33,600	16,800	
	合 計				120,500	1.000 式 算出数量
	単 価		式		120,500	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63010	初回		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種、着手前・最終、1.00人、1.00人、0.00人、0.00人、0.5日、0.58			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

業務名 出水平野地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	垂熱帶補正:なし 超勤時間:0.0	
1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終			深夜時間:0.0		
3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	1.00人 1.00人 0.00人 0.00人 0.500日 0.580日					
R04003	主任技師	1.080	人	64,800	69,984	
R04004	技師(A)	1.080	人	57,000	61,560	
	合 計				131,544	算出数量 1.000 回
	単 価		回		131,544	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63010	中間		回		1.000 回	歩A 当たり算出
打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.58日				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
1)設計工種 2)打合せ	一般工種 中間			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	垂熱帶補正:なし 超勤時間:0.0	
3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.00人 1.00人 1.00人 0.00人 0.500日 0.580日			深夜時間:0.0		
R04004	技師(A)	1.080	人	57,000	61,560	
R04005	技師(B)	1.080	人	47,200	50,976	
	合 計				112,536	算出数量 1.000 回
	単 価		回		112,536	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63010	最終		回		1.000 回	歩A 当たり算出
打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.58				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
日				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	垂熱帶補正:なし 超勤時間:0.0	
1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終			深夜時間:0.0		
3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	1.00人 1.00人 0.00人 0.00人 0.500日 0.580日					
R04003	主任技師	1.080	人	64,800	69,984	
R04004	技師(A)	1.080	人	57,000	61,560	
	合 計				131,544	算出数量 1.000 回
	単 価		回		131,544	
	*** S 単 - 10号 ***					
S63011	初回		回		1.000 回	歩A 当たり算出
打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時 間,100km L (100km以上)				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	垂熱帶補正:なし 超勤時間:0.0	
3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員 7)打合せ日数 8)往復移動日数	1人 1人 0人 0人 0.50日 0.58日			深夜時間:0.0		

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

業務名 出水平野地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金(税別)	6,690円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	4時間				
	20)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,900	1,900	
P34001	ガソリン JIS 2号 レギュラースタンド	10.800	L	162	1,750	
	合 計				10,340	算出数量 1.000 回
	単 価		回		10,340	
	*** S 単 - 11号 ***					
S63011	中間		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時間,100km			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	L (100km以上)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.58日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金(税別)	6,690円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	4時間				
	20)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,900	1,900	
P34001	ガソリン JIS 2号 レギュラースタンド	10.800	L	162	1,750	
	合 計				10,340	算出数量 1.000 回
	単 価		回		10,340	
	*** S 単 - 12号 ***					
S63011	最終		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時間 間,100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.58日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金(税別)	6,690円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	4時間				
	20)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区施設機能診断調査業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単 位	单 価	金 額	備 考
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライバル(二輪駆動) 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,900	1,900	
P34001	ガソリン JIS 2号 レギュラースタンド	10.800	L	162	1,750	
	合 計				10,340	算出数量 1.000 回
	单 価		回		10,340	
	*** S 单 - 13号 ***					
S63017	業務準備(現地調査)		式		1.000	歩A 式当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地、ライトバン、1.00日、2日、2時間、なし、100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)宿泊地 2)交通機関区分	乙地 ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬季補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金(税別) 4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	2,582円 0円		深夜時間:0.0		
	5)バス往復料金[全員分合算](税別) 6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円 0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別) 8)往復移動日数	0円 1.00日				
	9)ライトバン使用日数 10)時間区分	2日 2時間				
	11)補正区分 12)技師長外業日数	なし 0.000日				
	13)主任技師外業日数 14)技師A外業日数	1.900日 3.600日				
	15)技師B外業日数 16)技師C外業日数	3.200日 1.000日				
	17)技術員外業日数 18)往復移動距離区分	1.000日 100km L(100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師(B)日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54205	設計用技師(C)日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54206	設計用技術員日当 消費税抜き	2.000	人	773	1,546	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師(B)宿泊費 (乙地)消費税抜き(4級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師(C)宿泊費 (乙地)消費税抜き(3級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54006	設計用技術員宿泊費 (乙地)消費税抜き(2級相当)	1.000	人	7,090	7,090	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	3.000	人	8,354	25,062	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	3.000	人	8,354	25,062	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	2,582	2,582	
M28121	ライバル(二輪駆動) 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,600	3,200	
P34001	ガソリン JIS 2号 レギュラースタンド	10.800	L	162	1,750	
	合 計				120,464	算出数量 1.000 式
	单 価		式		120,464	
	*** S 单 - 14号 ***					
S63024	業務報告書作成(その他)		式		1.000	歩A 式当たり算出
	業務報告書作成(その他) 2, A - 4 以下, 500, 2, A - 4 以下, 厚手(金文字入)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)報告書焼付部数(部) 2)報告書規格区分	2 A - 4 以下		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬季補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)原稿枚数区分(枚) 4)表紙部数(部)	500 2		深夜時間:0.0		
	5)表紙規格区分 6)表紙区分	A - 4 以下 厚手(金文字入)				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区施設機能診断調査業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P43422	報告書焼付代 (コピ-) A - 4 以下 500枚	2,000	部	6,750	13,500	
P43450	報告書表紙代 厚手(金文字入) A - 4	2,000	部	5,070	10,140	
	合 計				23,640	算出数量 1,000 式
	単 価		式		23,640	
	*** S 単 - 15号 ***					
S65501	機能診断 線的構造物 (標準歩掛分)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	機能診断 線的構造物 1.894km,水路トンネル			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0		
1)設計対象延長	1.894km 水路トンネル			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0		
2)対象工種						
3)1.業務準備	計上する			深夜時間:0.0		
4)2-1.事前調査資料調査	計上する					
5)2-2.事前調査問診調査	計上する					
6)3.施設機能の検討	計上する					
8)5.性能低下要因の推定	計上する					
9)6.水利・水理機能検討	計上しない					
10)9.詳細調査計画立案	計上しない					
11)10.健全度評価	計上しない					
12)11.性能低下予測	計上しない					
13)12.管理水準の設定	計上しない					
14)13.機能保全対策の検討	計上しない					
15)14.機能保全コストの算定	計上しない					
16)15.機能保全計画の策定	計上しない					
17)16.農業水利入出力情報データ入力・登録	計上しない					
18)17.点検とりまとめ	計上しない					
19)1個別補正現地調査	1.00					
20)2-1個別補正資料調査	1.00					
21)2-2個別補正問診調査	1.00					
22)3個別補正施設機能の検討	1.00					
23)4個別補正施設の重要度評価	1.00					
24)5個別補正性能低下要因の推定	1.00					
25)6個別補正水利・水理機能検討	1.00					
26)9個別補正詳細調査計画立案	1.00					
27)10個別補正健全度評価	1.00					
28)11個別補正性能低下予測	1.00					
29)12個別補正管理水準の設定	1.00					
30)13個別補正機能保全対策の検討	1.00					
31)14個別補正機能保全コストの算定	1.00					
32)15個別補正機能保全計画の策定	1.00					
33)16個別補正ストック情報データ入力・登録	1.00					
34)17個別補正点検取りまとめ	1.00					
R04003	主任技師 内業	1,760	人	64,800	114,048	
R04004	技師 ( A ) 内業	4,560	人	57,000	259,920	
R04005	技師 ( B ) 内業	4,560	人	47,200	215,232	
R04006	技師 ( C ) 内業	0,850	人	38,400	32,640	
	合 計				621,840	算出数量 1,000 式
	単 価		式		621,840	
	*** S 単 - 16号 ***					
S65501	機能診断 線的構造物 (標準歩掛分)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	機能診断 線的構造物 0.272km,開水路、暗渠			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0		
1)設計対象延長	0.272km 開水路、暗渠			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0		
2)対象工種						
3)1.業務準備	計上する			深夜時間:0.0		
4)2-1.事前調査資料調査	計上する					
5)2-2.事前調査問診調査	計上する					
6)3.施設機能の検討	計上する					
8)5.性能低下要因の推定	計上する					
9)6.水利・水理機能検討	計上しない					
10)9.詳細調査計画立案	計上しない					
11)10.健全度評価	計上しない					
12)11.性能低下予測	計上しない					
13)12.管理水準の設定	計上しない					
14)13.機能保全対策の検討	計上しない					
15)14.機能保全コストの算定	計上しない					
16)15.機能保全計画の策定	計上しない					
17)16.農業水利入出力情報データ入力・登録	計上しない					





令和6年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区施設機能診断調査業務（調査業務）

# 積 算 書

（当初）

九州農政局  
南部九州土地改良調査管理事務所

















事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区施設機能診断調査業務					
業務別業務名:調査業務						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S18006	*** S 単 - 1号 *** 排水ポンプ運転(小口径) 排水ポンプ運転(小口径) 1.常時排水,6以上~30未満,発動発電機,なし		箇所	10,211		歩A・単A
S18006	*** S 単 - 2号 *** 排水ポンプ運転(小口径) 排水ポンプ運転(小口径) 1.常時排水,0以上~6未満,発動発電機,なし		箇所	11,321		歩A・単A
S18007	*** S 単 - 3号 *** 排水ポンプ設置撤去(小口径) 排水ポンプ設置撤去(小口径) 口径 100mm,なし		箇所	57,400		歩A・単A
S18007	*** S 単 - 4号 *** 排水ポンプ設置撤去(小口径) 排水ポンプ設置撤去(小口径) 口径 50mm,なし		箇所	19,400		歩A・単A
S63007	*** S 単 - 5号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	427,900		歩A・単A
S63007	*** S 単 - 6号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	71,300		歩A・単A
S63007	*** S 単 - 7号 *** 水路トソリ・開水路(現地踏査・近接調査)基準日額 設計労務(直接人件費外業)		式	88,100		歩A・単A
S63007	*** S 単 - 8号 *** 平木場調整池(熱赤外線調査)基準日額 設計労務(直接人件費外業)		式	71,300		歩A・単A
S63007	*** S 単 - 9号 *** 平木場調整池(ゴムシート目視調査)基準日額 設計労務(直接人件費外業)		式	71,300		歩A・単A
S63017	*** S 単 - 10号 *** 水路トソリ・開水路(現地踏査・近接調査) 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,1.00日,2日,2時間,なし,100km L(100km以上)		式	72,339		歩A・単A
S63017	*** S 単 - 11号 *** 平木場調整池(熱赤外線調査) 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,1.00日,2日,2時間,なし,100km L(100km以上)		式	98,737		歩A・単A
S63017	*** S 単 - 12号 *** 平木場調整池(ゴムシート目視調査) 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,1.00日,2日,2時間,なし,100km L(100km以上)		式	65,321		歩A・単A
S65001	*** S 単 - 13号 *** 現地踏査		km	23,472		歩A・単A
S65002	*** S 単 - 14号 *** 近接目視					
S65002	近接目視 線的構造物,35m <sup>2</sup>		式	88,864		歩A・単A
S65002	*** S 単 - 15号 *** 近接目視 線的構造物,26m <sup>2</sup>		式	88,864		歩A・単A
S65003	*** S 単 - 16号 *** コンクリート強度推定調査 コンクリート強度推定調査		測点	3,960		歩A・単A
S65004	*** S 単 - 17号 *** 鉄筋調査 鉄筋調査		箇所	3,744		歩A・単A
S65009	*** S 単 - 18号 *** 中性化深さ試験(ドリル法) 中性化深さ試験(ドリル法)		箇所	8,203		歩A・単A
T00001	*** T 単 - 1号 *** 熱赤外線調査					
T00002	*** T 単 - 2号 *** 現地調査		式	620,455		歩A・単A
	ゴムシート目視調査		m <sup>2</sup>	713		歩A・単A

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区施設機能診断調査業務					
業務別業務名:調査業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S18006	排水ポンプ運転(小口径) 排水ポンプ運転(小口径) 1.常時排水,6以上~30未満,発動発電機,なし		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	1)運転日数 2)排水方法	1 常時排水		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 夜間制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)排水量(m3/h) 4)動力源区分	6以上~30未満 発動発電機		深夜時間:0.0		
	5)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
F02075	発動発電機[ D 駆動・~低騒音型] 定格容量5kva	1.100	日	1,950	2,145	
P34029	軽油 ハドル給油	17.000	L	148	2,516	
R01002	特殊作業員	0.170	人	28,200	4,794	
Y00004	諸雑費	0.080		9,455	756	
	合 計				10,211	算出数量 1.000 箇所
	単 価				10,211	
	*** S 単 - 2号 ***					
S18006	排水ポンプ運転(小口径) 排水ポンプ運転(小口径) 1.常時排水,0以上~6未満,発動発電機,なし		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	1)運転日数 2)排水方法	1 常時排水		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 夜間制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)排水量(m3/h) 4)動力源区分	0以上~6未満 発動発電機		深夜時間:0.0		
	5)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
F02070	発動発電機[ G 駆動・~低騒音型] 定格容量2kva	1.100	日	900	990	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	29.000	L	162	4,698	
R01002	特殊作業員	0.170	人	28,200	4,794	
Y00004	諸雑費	0.080		10,482	839	
	合 計				11,321	算出数量 1.000 箇所
	単 価				11,321	
	*** S 単 - 3号 ***					
S18007	排水ポンプ設置撤去(小口径) 排水ポンプ設置撤去(小口径) 口径 100mm,なし		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	1)ポンプ規格 2)長期割引単価区分(賃料機械)	口径 100mm なし		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 夜間制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R01001	土木一般世話役	0.500	人	31,500	15,750	
R01003	普通作業員	1.000	人	19,900	19,900	
F08063	ハ'ッカ[クローラ型・ルーラ~超低・排対型(~2011)] 標準ハ'ッカ容量 山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	0.500	日	17,700	8,850	
R01021	運転手(特殊)	0.340	人	28,800	9,792	
P34029	軽油 ハドル給油	21.000	L	148	3,108	
	合 計				57,400	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		57,400	
	*** S 単 - 4号 ***					
S18007	排水ポンプ設置撤去(小口径) 排水ポンプ設置撤去(小口径) 口径 50mm,なし		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	1)ポンプ規格 2)長期割引単価区分(賃料機械)	口径 50mm なし		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 夜間制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

業務名 出水平野地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:調査業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
R01001	土木一般世話役	0.300	人	31,500	9,450	
R01003	普通作業員	0.500	人	19,900	9,950	
	合 計				19,400	算出数量 1.000箇所
	単 価		箇所		19,400	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 ( A ) 外業	1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師 ( B ) 外業	4.000	人	47,200	188,800	
R04006	技師 ( C ) 外業	4.000	人	38,400	153,600	
	合 計				427,900	算出数量 1.000 式
	単 価		式		427,900	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 ( A ) 外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師 ( B ) 外業	0.500	人	47,200	23,600	
R04006	技師 ( C ) 外業	0.500	人	38,400	19,200	
	合 計				71,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		71,300	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63007	水路引排・開水路 (現地踏査・近接調査) 基準日額		式		1.000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04004	技師 ( A ) 外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師 ( B ) 外業	0.500	人	47,200	23,600	
R04006	技師 ( C ) 外業	0.500	人	38,400	19,200	
R04007	技術員 外業	0.500	人	33,600	16,800	

事業名 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

業務名 出水平野地区施設機能診断調査業務

業務別業務名:調査業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計				88,100	算出数量 1.000 式
	单 価		式		88,100	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63007	平木場調整池(熱赤外線調査)基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師( A ) 外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師( B ) 外業	0.500	人	47,200	23,600	
R04006	技師( C ) 外業	0.500	人	38,400	19,200	
	合 計				71,300	算出数量 1.000 式
	单 価		式		71,300	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63007	平木場調整池(ゴムシート目視調査)基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師( A ) 外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師( B ) 外業	0.500	人	47,200	23,600	
R04006	技師( C ) 外業	0.500	人	38,400	19,200	
	合 計				71,300	算出数量 1.000 式
	单 価		式		71,300	
	*** S 単 - 10号 ***					
S63017	水路浚渫・開水路(現地踏査・近接調査)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 1.00日, 2日, 2時間, なし, 100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)宿泊地	乙地		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)交通機関区分	ライトバン		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)高速道路往復料金(税別)	2,582円		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	2時間				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	0.000日				
	14)技師A外業日数	0.400日				
	15)技師B外業日数	1.300日				
	16)技師C外業日数	1.900日				
	17)技術員外業日数	1.400日				
	18)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54203	設計用技師( A )日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師( B )日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区施設機能診断調査業務					
業務別業務名:調査業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
P54205	設計用技師( C )日当 消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54206	設計用技術員日当 消費税抜き	2,000	人	773	1,546	
P54003	設計用技師( A )宿泊費 (乙地)消費税抜き( 6級相当 )	1,000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師( B )宿泊費 (乙地)消費税抜き( 4級相当 )	1,000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師( C )宿泊費 (乙地)消費税抜き( 3級相当 )	1,000	人	8,909	8,909	
P54006	設計用技術員宿泊費 (乙地)消費税抜き( 2級相当 )	1,000	人	7,090	7,090	
P54113	外業の滞在日額旅費 3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1,000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費 3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1,000	人	8,354	8,354	
P54112	外業の滞在日額旅費 2級相当以下 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1,000	人	6,736	6,736	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1,000	式	2,582	2,582	
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2,000	日	1,600	3,200	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	162	1,750	
	合 計				72,339	算出数量 1.000 式
	单 価		式		72,339	
	*** S 単 - 11号 ***					
S63017	平木場調整池(熱赤外線調査)		式		1,000	式 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 1.00日, 2日, 2時間, なし, 100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)宿泊地 2)交通機関区分	乙地 ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金(税別) 4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	2,582円 0円		深夜時間:0.0		
	5)バス往復料金[全員分合算](税別) 6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円 0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別) 8)往復移動日数	0円 1.00日				
	9)ライトバン使用日数 10)時間区分	2日 2時間				
	11)補正区分 12)技師長外業日数	なし 0.000日				
	13)主任技師外業日数 14)技師A外業日数	0.000日 1.500日				
	15)技師B外業日数 16)技師C外業日数	4.000日 4.000日				
	17)技術員外業日数 18)往復移動距離区分	0.000日 100km L (100km以上)				
P54203	設計用技師( A )日当 消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師( B )日当 消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54205	設計用技師( C )日当 消費税抜き	2,000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師( A )宿泊費 (乙地)消費税抜き( 6級相当 )	1,000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師( B )宿泊費 (乙地)消費税抜き( 4級相当 )	1,000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師( C )宿泊費 (乙地)消費税抜き( 3級相当 )	1,000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費 3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1,000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費 3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	3,000	人	8,354	25,062	
P54113	外業の滞在日額旅費 3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	3,000	人	8,354	25,062	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1,000	式	2,582	2,582	
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2,000	日	1,600	3,200	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	162	1,750	
	合 計				98,737	算出数量 1.000 式
	单 価		式		98,737	
	*** S 単 - 12号 ***					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区施設機能診断調査業務					
業務別業務名:調査業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S63017	平木場調整池(ゴムシート目視調査)		式		1,000	歩A 1,000式 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地、ライトバン、1.00日、2日、2時間、なし、100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地 2)交通機関区分	乙地 ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金(税別) 4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	2,582円 0円		深夜時間:0.0		
	5)バス往復料金[全員分合算](税別) 6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円 0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別) 8)往復移動日数	0円 1.00日				
	9)ライトバン使用日数 10)時間区分	2日 2時間				
	11)補正区分 12)技師長外業日数	なし 0.000日				
	13)主任技師外業日数 14)技師A外業日数	0.000日 1.500日				
	15)技師B外業日数 16)技師C外業日数	1.500日 1.500日				
	17)技術員外業日数 18)往復移動距離区分	0.000日 100km L(100km以上)				
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師(B)日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54205	設計用技師(C)日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師(B)宿泊費 (乙地)消費税抜き(4級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師(C)宿泊費 (乙地)消費税抜き(3級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	2,582	2,582	
M28121	ライトバン(二輪駆動) 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,600	3,200	
P34001	ガソリン JIS 2号 レギュラースタンド	10.800	L	162	1,750	
	合 計				65,321	算出数量 1,000式
	单 価		式		65,321	
	*** S 単 - 13号 ***					
S65001	現地踏査		km		1,000	歩A 1,000日 当たり算出
	現地踏査 線の構造物			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象構造物	線の構造物		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師(A) 外業	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B) 外業	1.000	人	47,200	47,200	
R04007	技術員 外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費	0.014		137,800	1,929	
Y00004	材料費	0.008		137,800	1,102	
	合 計				140,831	算出数量 6,000 [各単位]
	单 価		[各単位]		23,472	
Y00001	単位					
	*** S 単 - 14号 ***					
S65002	近接目視		式		1,000	歩A 1,000式 当たり算出
	近接目視 線の構造物、35m <sup>2</sup>			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区施設機能診断調査業務					
業務別業務名:調査業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)対象構造物 2)作業対象面積	線的構造物 35m <sup>2</sup>		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師( B ) 外業	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師( C ) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		119,200	3,576	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		119,200	2,384	
	合 計				125,160	算出数量 1.000 式
	単 価		式		88,864	
	*** S 単 - 15号 ***					
S65002	近接目視		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	近接目視 線的構造物,26m <sup>2</sup>			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)対象構造物 2)作業対象面積	線的構造物 26m <sup>2</sup>		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師( B ) 外業	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師( C ) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		119,200	3,576	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		119,200	2,384	
	合 計				125,160	算出数量 1.000 式
	単 価		式		88,864	
	*** S 単 - 16号 ***					
S65003	コンクリート強度推定調査		測点		1.000 日	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)強度推定調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師( C ) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		72,000	7,200	
	合 計				79,200	算出数量 20.000 測点
	単 価		測点		3,960	
	*** S 単 - 17号 ***					
S65004	鉄筋調査		箇所		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)鉄筋調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師( C ) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費 30.0%	0.300		72,000	21,600	
	合 計				93,600	算出数量 25.000 箇所







令和 6 年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区施設機能診断調査業務

特 別 仕 様 書

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

## 第1章 総則

### (適用範囲)

第1-1条 令和6年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区施設機能診断調査業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### (目的)

第1-2条 本業務は、国営土地改良事業「出水平野地区」で造成された施設の機能診断調査を行い、次期国営事業における施設改修計画の構想検討を行うための基礎資料とするものである。

### (場所)

第1-3条 本業務における対象施設の場所は、鹿児島県出水市地内で、別添位置図に示すとおりである。

### (土地への立入り等)

第1-4条 作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

### (履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-5条 本業務の受注にあたり、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格(以下、「調査基準価格」という。)を下回る価格で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備等

### (一般事項)

第1-6条 業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

### (管理技術者)

第1-7条 1 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業-農業土木 農業-農業農村工学

	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該部門に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

2 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第1-8条 担当技術者は共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-9条 共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

(1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職および担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

(2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1-10条 受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1条 本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農業水利施設の機能保全の手引き (参考資料編含む)	食料・農業・農村政策審議会 農業農村整備部会 技術小委員会	令和5年4月
2	農業水利施設の機能保全の手引き 「パイプライン」	農林水産省農村振興局	平成28年8月
3	農業水利施設の機能保全の手引き 「水路トンネル」	農林水産省農村振興局	平成28年8月
4	農業水利施設の機能保全の手引き 「開水路」	農林水産省農村振興局	平成28年8月
5	農業水利施設の機能保全の手引き 「水管理体制御設備」	農林水産省農村振興局	平成25年5月
6	農業水利施設の長寿命化のための手引き	農林水産省農村振興局	平成27年11月

(作業条件)

第2－2条 本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員と十分打合せを行い手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 現地調査に伴い施設内に立入る場合、監督職員と打合せを行い施設管理者と調整を実施するものとする。
- (4) 対象施設の現地調査可能な期間は次のとおりであり、事前に現地作業に関して安全上考慮した（労働安全衛生法等の諸法令を遵守した）作業計画書、調査工程を作成し、監督職員及び施設管理者と十分な調整を行うものとする。

なお、通水停止期間及び作業日数については、施設管理者との協議調整により変更する場合がある。

施設名	調査可能時期	備考
導水路	令和6年5月5日～6月7日	通水停止期間（予定） 令和6年5月10日（金）～5月15日（水）
五万石幹線水路	令和6年5月5日～6月7日	通水停止期間（予定） 令和6年5月24日（金）～5月29日（水）

- (5) 平木場調整池の現地調査可能な期間は次のとおりであり、調査は施設管理者が調整池の水位を抜いた状態で実施することを想定している。

また、熱赤外線調査の現地調査作業については、令和6年11月10日までに実施することとする。

施設名	調査可能時期	備考
平木場調整池	令和6年10月11日 ～令和7年2月1日	

- (6) サイホン部調査前の仮設工として、排水ポンプ及び発動発電機による排水を計上している。

なお、現地調査の結果、仮設工に変更が必要となった場合は監督職員と協議するものとする。

- (7) 作業上、支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

(対象施設)

第2－3条 本業務の対象となる施設等詳細は別紙－1【業務対象施設一覧表】による。

(参考図書)

第2－4条 本業務の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名称	発行所	制定(発行)年月
1	コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針-2022-	(公社)日本コンクリート工学会	令和4年6月
2	コンクリート診断技術‘23		令和5年5月
3	コンクリート標準示方書（設計編）	(公社)土木学会	令和5年3月
4	コンクリート標準示方書（施工編）		平成30年3月
5	コンクリート標準示方書（維持管理編）		令和5年3月

6	農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【パイプライン編】(案)	農林水産省農村振興局	平成 29 年 4 月
7	農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【水路トンネル編】		令和 3 年 6 月
8	農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路編】		令和 5 年 3 月
9	農業水利施設のコンクリート構造物 調査・評価・対策工法選定マニュアル		平成 19 年 4 月
10	農業水利施設の機能保全に関する 調査計画の参考資料(計画編・調査編) (案)		平成 30 年 3 月

(貸与資料)

第 2-5 条 貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸与資料	数量
1	土地改良施設整理台帳付属図面	1 式
2	出水平野地区事業誌、事業成績書等	1 式
3	平成 25 年度 国営造成水利施設保全対策指導事業 出水平野地区導水路他機能診断調査業務 報告書	1 式
4	令和元年度 国営施設応急対策事業 出水平野地区原因究明補足調査業務 報告書	1 式
5	令和 5 年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区平木場調整池対策手法検討業務 報告書	1 式

また、上記以外で必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 2-6 条 第 2-4 条、第 2-5 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、施設機能診断作業時点の最新版を用いることとし、改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

(関連業務)

第 2-7 条 本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた業務成果としなければならない。

業務名	業務実施期間（予定）
令和 6 年度 地域整備方向検討調査 出水平野地区整備構想策定業務（仮称）	令和 6 年 5 月～ 令和 7 年 3 月

**第 3 章 作業内容**

(作業項目及び数量)

第 3-1 条 本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙-2【機能診断作業項目内訳表】、別紙-3【現地調査作業項目内訳表】及び別紙-4【現地調査作業一覧表】に示すものとする。

作業項目表

作業項目	数量	備考
機能診断作業	1式	
現地調査作業	1式	

(作業の留意点)

第3-2条 業務の実施あたって、特に留意する点は次のとおりとする。

- (1) 中性化深さ調査（ドリル法）を行う際は構造物への影響が最小限となるよう配慮する。  
なお、削孔後は既存施設の機能を損なわないよう無収縮モルタル等により復旧を行うものとする。
- (2) 現地調査において、著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。
- (3) 現地踏査等施設の状況確認においては、できる限り施設管理者の同行により意見・助言を受けて実施するものとする。
- (4) 定点調査（近接目視、コンクリート強度推定調査、中性化深さ調査）の調査箇所は、現地踏査等の結果を踏まえ、監督職員と協議して決定することとする。
- (5) 機能保全対策内容の検討にあたっては、当該施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (6) 現地調査（ゴムシート目視調査）の空洞箇所の形状確認方法については、監督職員と協議するものとする。
- (7) 試掘調査の実施にあたっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」の第2章材料及び第3章施工共通事項に基づいて実施することとし、詳細については以下のとおりとする。

#### 1) 使用材料

##### 1 規格及び品質

本業務で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。

材料名	規格及び品質
石材及び骨材	JIS A 5001 単粒度碎石4号 30~20mm
吸出防止シート	合織不織布 t=10mm
ゴムシート	JIS A 6008 均質加硫ゴム系 t=1.5mm

#### 2 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す使用材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材料名	提出物
石材及び骨材	試験成績表、粒度分布表
吸出防止シート	カタログ又は試験成績書等
ゴムシート	カタログ又は試験成績書等

#### 2) 施工

- 1 堆積土砂の堆積厚は30cmを想定している。なお、堆積土砂については、調査に影響のない範囲（池敷内）へ運搬しなければならない。  
なお、堆積土砂撤去前後に現況高の確認を行い、監督職員に報告するものとする。
- 2 既設の排水暗渠及びアンダードレーンについては、試掘調査時に撤去し再利用すること

を計画しているが、撤去した資材が再利用できない場合は監督職員と協議するものとする。

- 3 空洞部の埋戻しは管体（排水暗渠）に影響を与えないように施工しなければならない。
- 4 ゴムシートの敷設は、施工に先立ちシートの割付平面図を監督職員に提出し承諾を得なければならない。

- 5 ゴムシートの接合幅や重ね幅は25cmを想定しており、詳細については施工計画書を提出し承諾を得たうえで施工するものとする。

6 試掘調査箇所は土のうによる仮締切を行い、調査完了後は土のうを存置するものとする。

### 3) 施工管理

ゴムシートの施工管理については、シート重ね幅、接続部の検査、シート展開図（面積）、を管理することとし、詳細については監督職員の指示によるものとする。

### 4) 法定外の労災保険の付保

本業務において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

- (8) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。

- (9) 第2-4条、第2-5条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。

- (10) 機能保全対策シナリオの検討にあたっては、最新の新素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。

・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、

<https://www.nn-techinfo.jp>を参照。

・新技術情報システム（NETIS）については、

<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS>を参照。

- (11) 対策内容の検討にあたっては、事業への適用性や施設管理者の管理体制等を総合的に検討する。

- (12) 数量計算にあたっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。

・「工事工種の体系化」は、[https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi\\_kousyu/](https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/)を参照。

- (13) 農業水利ストック情報データの作成は、機能診断情報記入用Excelファイルによる入力のほか、登録情報データ外部入出力機能等を適宜使用することを基本とするが、作業方法、内容等について監督職員と十分協議を行った上作業を行うものとする。なお、作成した電子データは成果物に含むものとする。

## （業務写真における黒板情報の電子化）

第3-3条 黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。

黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

### （1）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信性憑確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

## (2) 機器等の導入

- ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならぬ。

## (3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- ア 受注者は、(1) の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。  
なお、上記アに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案)6写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

## (4) 写真の納品

受注者は、(3) に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL([https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index\\_digital.html](https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)) のチェックシステム(信憑性チェックツール) 又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

## (5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第4章 業務管理

(情報共有システム)

- 第4-1条 (1) 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、事務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- (2) 情報共有システムは、「工事及び業務の情報共有システム活用要領」(<https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/ASP/index.html>) によるものとする。
- (3) 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

## 第5章 打合せ

(打合せ)

- 第5-1条 共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。  
また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ(現地調査(定点調査)計画作成時)

第3回 中間打合せ(平木場調整池調査計画作成時)

第4回 中間打合せ(平木場調整池調査結果整理後)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはし

ない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

## 第6章 成果物

### (成果物)

第6-1条 成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

(1) 成果物の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R）正副2部

(2) 成果物の出力2部（黒表紙※、金文字入）※JIS Z8102:2001に規定する色No.269

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については、別途監督職員の指示によるものとする。

### (成果物の提出先)

第6-2条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県都城市志比田町4778-1

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

## 第7章 契約変更

### (契約変更)

第7-1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

(1) 第2-2条に示す「作業条件」に変更が生じた場合。

(2) 第2-3条に示す「対象施設」に変更が生じた場合。

(3) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。

(4) 第5-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。

(5) 第6-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。

(6) 履行期間の変更が生じた場合。

(7) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。

(8) その他

## 第8章 定めなき事項

### (定めなき事項)

第8-1条 この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じ監督職員と協議するものとする。

## 【業務対象施設一覧表】

施設名称・対象構造物	構造物の規格等	単位	数量	備考
<b>①導水路</b>				
取付工	ボックスカルバート B=4.200m×H=1.500m×2連、 L=8.5m B=3.200m×H=1.850m×2連、 L=7.7m	m	16.2	
	ボックスカルバート B=4.744m×H=1.700m～ B=2.200m×H=2.000m	m	72.3	
1号暗渠	ボックスカルバート B=2.200m×H=2.200～2.000m	m	843.5	
1号隧道	コンクリート被覆トンネル 標準馬蹄形 2r=2000mm	m	1,662.0	
鍋野川サイホン	取付部 B=1.900m×H=2.600m、 L=6m ボックスカルバート B=1.800m×H=1.800m、 L=159m	m	165.0	調査対象
2号隧道	コンクリート被覆トンネル 標準馬蹄形 2r=2000mm	m	87.0	調査対象
2号暗渠	ボックスカルバート B=2.200m×H=2.000m	m	125.0	
3号隧道	コンクリート被覆トンネル 標準馬蹄形 2r=2000mm	m	2,209.0	
3号暗渠	ボックスカルバート B=1.900m×H=1.900m	m	35.0	調査対象
平良川サイホン	取付部 B=1.900m×H=1.900m、 L=29m ヒューム管 φ2000、 L=54m	m	83.0	調査対象
4号暗渠	ボックスカルバート B=2.000m×H=1.800m	m	93.1	調査対象
	調査対象延長	m	463.1	
<b>②五万石幹線水路</b>				
開水路工	B=2.950m×H=3.950m、 L=7.2m B=4.000m×H=3.640～3.940m、 L=26.2m B=5.300m×H=3.840m、 L=15.8m B=4.170m×H=2.350m、 L=13.0m B=3.600m×H=2.370m、 L=7m	m	69.2	
	B=2.250m×H=1.750m～ B=2.100m×H=1.750m	m	2,051.3	
2号サイホン工	取付部 B=1.800m×H=1.630m、 L=15m ボックスカルバート B=1.500m×H=1.500m、 L=13m	m	28.0	調査対象
開水路工	B=2.100m×H=1.750m～ B=1.850m×H=1.750m	m	1,071.5	
暗渠工	ボックスカルバート B=1.850m×H=1.750m	m	230.5	
3号サイホン工	取付部 B=1.850m×H=1.700m、 L=6m ヒューム管 φ1500mm、 L=20.5m	m	26.5	調査対象
暗渠工	ボックスカルバート B=1.850m×H=1.700m	m	697.5	
開水路工	B=1.850m×H=1.700m	m	30.0	
水路トンネル工	ヒューム管、 φ1200mm	m	1,260.7	調査対象
開水路工	B=1.500m×H=1.600m	m	272.3	調査対象
高尾野川サイホン工	取付部 B=1.500m×H=1.600m、 L=37.1m ヒューム管 φ1000、 L=78.1m	m	115.2	調査対象
	調査対象延長	m	1,702.7	
<b>③平木場調整池</b>				
調整池	池敷A=17,670m <sup>2</sup> 底版：遮水シート（ゴムシート） Q=1.512m <sup>3</sup> /s	箇所	1	調査対象

## 【機能診断作業項目内訳表】導水路

(1/2)

作業項目	作業内容	備考
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	
2. 事前調査 2-1 資料調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し診断評価の基礎材料とする。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。	
2-2 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	
3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	
4. 施設の影響度評価	事前調査、現地踏査結果を基に、施設が機能停止した場合の影響度を評価する。	
5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地踏査結果を基に、主な性能低下の推定を行う。また、環境（水質又は周辺環境）条件による性能低下の可能性があるか推定する。	
6. 現地調査（定点調査） 計画の作成	事前調査、現地踏査及び施設が機能停止した場合の影響度等を勘案し、現地調査（定点調査）の範囲・調査地点の密度及び調査手法を選定する。	
7. 健全度評価	調査結果及び過年度業務を踏まえて、調査単位毎に施設の健全度評価の見直しを行う。	
8. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	

## 【機能診断作業項目内訳表】五万石幹線水路

作業項目	作業内容	備考
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	
2. 事前調査 2-1 資料調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し診断評価の基礎材料とする。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。	
2-2 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	
3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	
4. 施設の影響度評価	事前調査、現地踏査結果を基に、施設が機能停止した場合の影響度を評価する。	
5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地踏査結果を基に、主な性能低下の推定を行う。また、環境（水質又は周辺環境）条件による性能低下の可能性があるか推定する。	
6. 現地調査（定点調査） 計画の作成	事前調査、現地踏査及び施設が機能停止した場合の影響度等を勘案し、現地調査（定点調査）の範囲・調査地点の密度及び調査手法を選定する。	
7. 健全度評価	調査結果及び過年度業務を踏まえて、調査単位毎に施設の健全度評価の見直しを行う。	
8. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	

## 【機能診断作業項目内訳表】平木場調整池

(2/2)

作業項目	作業内容	備考
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	
2. 熱赤外線調査結果整理	別紙-3で実施する熱赤外線調査時の温度分布画像により、ゴムシート背面の変状箇所を推定する。	
3. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	

## 【現地調査作業項目内訳表】導水路

作業項目	作業内容	備 考
1. 現地踏査	事前調査で得られた情報を参考に、遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定及び劣化箇所の位置や劣化の内容、程度など必要な事項について概略を把握し、踏査結果を整理する。	
2. 近接目視（定点）	目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチを作成する。	
3. コンクリート強度推定調査	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。	
4. 鉄筋探査	中性化深さ調査（ドリル法）の調査位置特定のため、鉄筋探査器により鉄筋位置・かぶりの探査を行う。	
5. 中性化深さ調査（ドリル法）	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。（NDIS 3419）	

## 【現地調査作業項目内訳表】五万石幹線水路

作業項目	作業内容	備 考
1. 現地踏査	事前調査で得られた情報を参考に、遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定及び劣化箇所の位置や劣化の内容、程度など必要な事項について概略を把握し、踏査結果を整理する。	
2. 近接目視（定点）	目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチを作成する。	
3. コンクリート強度推定調査	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。	
4. 鉄筋探査	中性化深さ調査（ドリル法）の調査位置特定のため、鉄筋探査器により鉄筋位置・かぶりの探査を行う。	
5. 中性化深さ調査（ドリル法）	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。（NDIS 3419）	

## 【現地調査作業項目内訳表】平木場調整池

作業項目	作業内容	備 考
1. 热赤外線調査	平木場調整池の別添図面に示す範囲について、熱赤外線カメラによる撮影を実施する。	
2. 現地調査（ゴムシート目視調査）	下記3. の堆積土砂撤去後にゴムシートの目視調査を実施し、ゴムシートの変状の有無や劣化状況を確認する。また、下記3. のゴムシート撤去後に空洞箇所の形状を確認する。	
3. 試掘調査	別紙2の2. 热赤外線調査結果で確認した変状箇所の堆積土砂撤去を行う。 上記2. のゴムシート劣化状況確認後にゴムシートを撤去し、試掘を行う。また、上記2. の空洞箇所の形状確認後に埋戻し及びゴムシートの復旧を行う。	

## 【現地調査作業一覧表】

作業項目	規格	単位	数量	備考
<b>1. 導水路</b>	$Q=4.693 \text{ m}^3/\text{s}$			
(1) 現地踏査	ボックスカルバート: $L=322.1\text{m}$ 、 トンネル: $L=87.0\text{m}$ ヒューム管: $L=54.0\text{m}$	m	463.1	
(2) 近視目視(定点)	ボックスカルバート: ① $B=1.8$ 、 $H=1.8$ ② $B=1.9$ 、 $H=1.9$ 、③ $B=2.0$ 、 $H=1.8$ トンネル: 標準馬蹄形 $2r=2000\text{mm}$ ヒューム管: $\phi 2000$	$\text{m}^2$	35.0	ボックスカルバート部: 3箇所 ( $22.4 \text{ m}^2$ ) トンネル部: 1箇所 ( $6.3 \text{ m}^2$ ) ヒューム管部: 1箇所 ( $6.3 \text{ m}^2$ )
(3) コンクリート強度推定調査	JISA115(リバウンドハンマー)	測点	5	ボックスカルバート部: 3箇所
(4) 鉄筋探査		箇所	5	トンネル部: 1箇所
(5) 中性化深さ調査	NDIS3419-1999 フェノールフタレン溶液	箇所	5	ヒューム管部: 1箇所
(6) 排水工	排水ポンプ $\phi 100$ ( $Q_{\max}=30\text{m}^3/\text{h}$ ) 発動発電機、常時排水	日	1	鍋野川サイホン
(7) 排水工	排水ポンプ $\phi 100$ ( $Q_{\max}=30\text{m}^3/\text{h}$ ) 発動発電機、常時排水	日	1	平良川サイホン
<b>2. 五万石幹線水路</b>	$Q=2.895 \text{ m}^3/\text{s}$			
(1) 現地踏査	ボックスカルバート: $L=71.1\text{m}$ ヒューム管: $L=1359.3\text{m}$ 、 開水路: $L=272.3\text{m}$	m	1,702.7	
(2) 近視目視(定点)	ボックスカルバート: $B=1.5$ 、 $H=1.5$ ヒューム管: ① $\phi 1500$ 、② $\phi 1200 \times 2$ 箇所、③ $\phi 1000$ 開水路: $B=1.5$ 、 $H=1.6$	$\text{m}^2$	26.1	ボックスカルバート部: 1箇所 ( $6.0 \text{ m}^2$ ) ヒューム管部: 3箇所 ( $15.4 \text{ m}^2$ ) 開水路: 1箇所 ( $4.7 \text{ m}^2$ )
(3) コンクリート強度推定調査	JISA115(リバウンドハンマー)	測点	5	ボックスカルバート部: 1箇所
(4) 鉄筋探査		箇所	5	ヒューム管部: 3箇所
(5) 中性化深さ調査	NDIS3419-1999 フェノールフタレン溶液	箇所	5	開水路: 1箇所
(6) 排水工	排水ポンプ $\phi 50$ ( $Q_{\max}=6\text{m}^3/\text{h}$ ) 発動発電機、常時排水	日	1	2号サイホン
(7) 排水工	排水ポンプ $\phi 50$ ( $Q_{\max}=6\text{m}^3/\text{h}$ ) 発動発電機、常時排水	日	1	3号サイホン
(8) 排水工	排水ポンプ $\phi 100$ ( $Q_{\max}=30\text{m}^3/\text{h}$ ) 発動発電機、常時排水	日	1	高尾野川サイホン
<b>3. 平木場調整池</b>				
(1) 熱赤外線調査	底版: 遮水シート(ゴムシート)	$\text{m}^2$	5,000	
(2) 現地調査 (ゴムシート目視調査)		$\text{m}^2$	298	
(3) 試掘調査		式	1	詳細は「別紙-5」を参照

## 【試掘調査数量表】

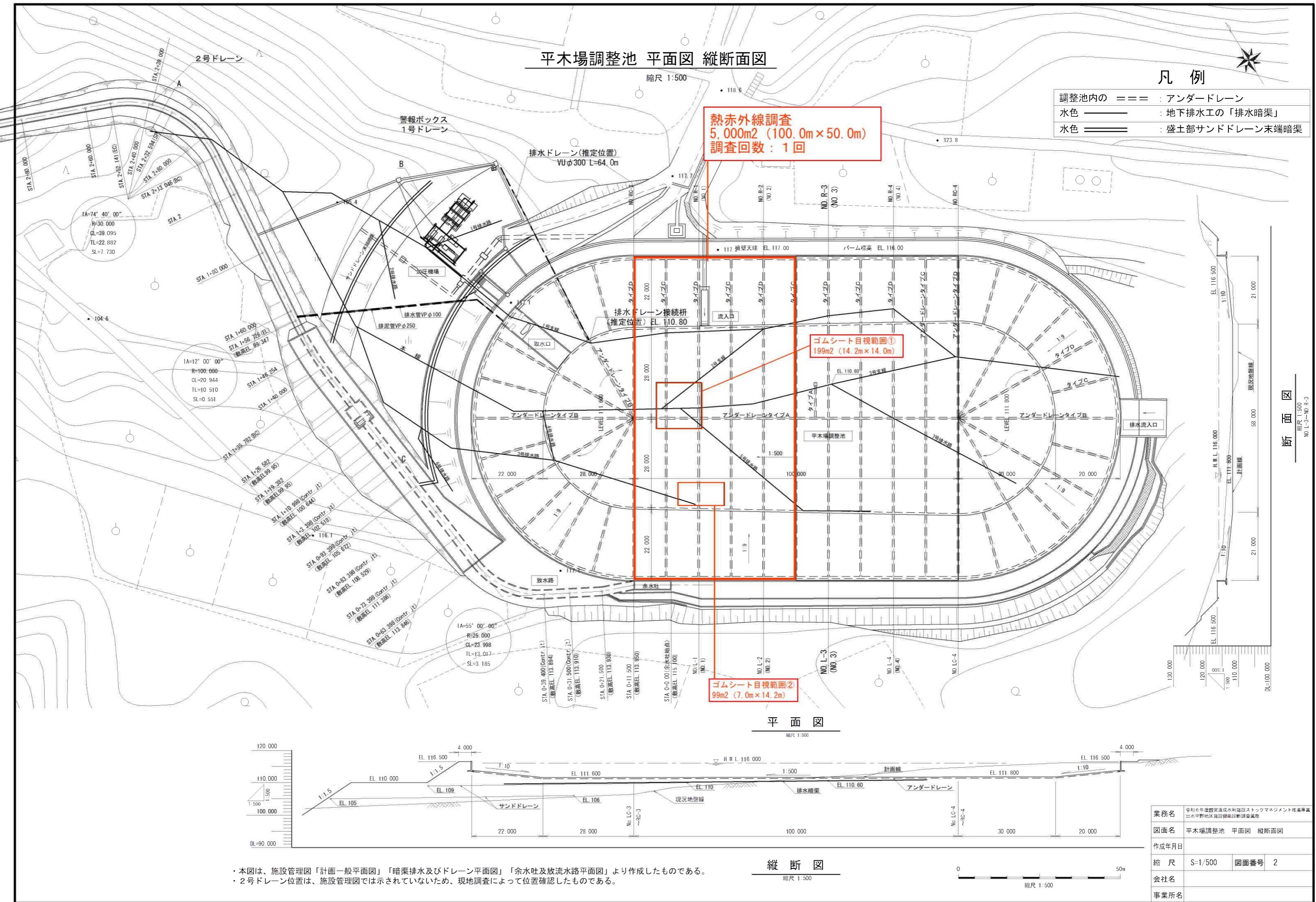
工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 土工				
堆積土砂撤去	土砂	m <sup>3</sup>	89	
埋戻	単粒度碎石 4号	m <sup>3</sup>	9.6	
吸出し防止シート敷設	合織不織布、t=10mm	m <sup>2</sup>	22.6	
2. ゴムシート撤去・復旧工				
ゴムシート撤去	t=1.5mm	m <sup>2</sup>	298	
ゴムシート布設	t=1.5mm	m <sup>2</sup>	298	
高压洗浄工	既設ゴムシート部	m <sup>2</sup>	107	
3. 排水暗渠撤去・復旧工				
既設管撤去	φ50mm	m	3.2	
既設管撤去	φ75mm	m	2.0	
既設管撤去	φ100mm	m	10.6	
アンダードレーン	タイプC φ100mm (既設管利用)	m	3.2	
アンダードレーン	タイプD φ50mm+φ100mm (既設管利用)	m	6.4	
3号排水路	φ75mm (既設管利用)	m	1.0	
5号排水路	φ75mm (既設管利用)	m	1.0	
3号支線	φ100mm (既設管利用)	m	1.0	
4. 積卸し				
積卸し (単粒度碎石)		式	1	土工及び排水暗渠復旧工
積卸し (土のう)		式	1	仮設工
5. 仮設工				
仮締切り工	土のう (製作・設置) ポリプロピレン製	m <sup>3</sup>	11.5	

令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区施設機能診断調査業務

図面目録

番号	名称	枚数
1	位置図	1
2	平木場調整池 平面図 縦断面図	1
	合 計	2





令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区施設機能診断調査業務

図面目録  
(参考図面)

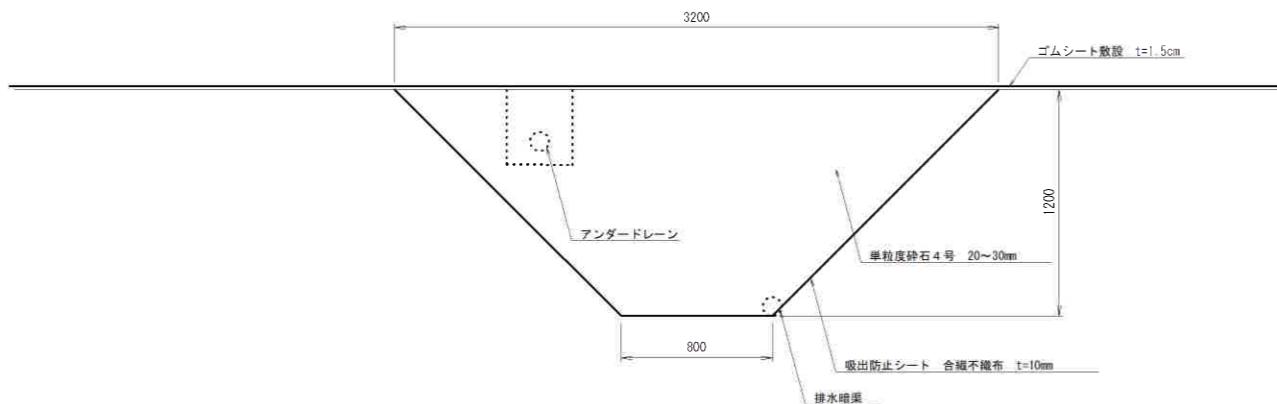
番号	名称	枚数
参-1	平木場調整池 排水暗渠断面図	1
	合 計	1

# 平木場調整池 排水暗渠断面図

S=1/20

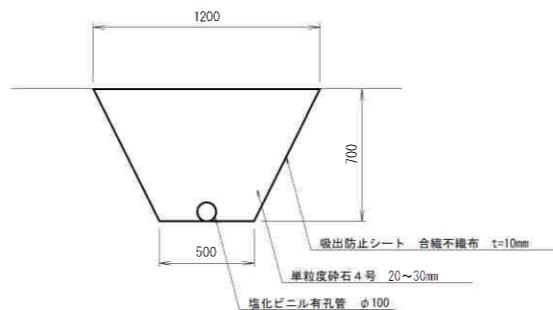
空洞箇所断面図 (参考)

S=1/20



3号支線 断面図

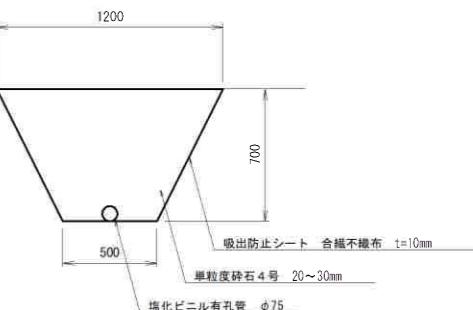
S=1/20



3号排水路 断面図

5号排水路 断面図

S=1/20



アンダードレーン (タイプC) 断面図

S=1/20



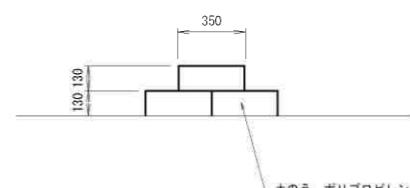
アンダードレーン (タイプD) 断面図

S=1/20



仮締切り工 断面図

S=1/20



暗渠排水の敷設位置は、復旧区間前後の現況位置に合わせて施工するものとする。

業務名	令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区施設調査・診断調査業務		
図面名	平木場調整池 排水暗渠断面図		
作成年月日			
縮 尺	S=20	図面番号	参-1
会社名			
事業所名			